

報告事項 (上半期)

1. 平成 22 年度人事・事業実施報告

(1) 会員数

	平成 21 年 3 月 31 日	平成 22 年 3 月 31 日	平成 22 年 7 月 31 日
会 員	4,865 名	4,934 名	4,823 名
	正会員 4,563 名 (内入会数 308 名)	正会員名 4,626 (内入会数 391 名)	正会員 4,524 名 (内入会数 246 名)
	団 体 302 団体	団 体 308 団体	団 体 299 団体
賛助会員	15 社	15 社	13 社

* 過年度年会費滞納者 108 名を定款に基づき退会とした。(平成 22 年 4 月)

(2) 人事について

1) 訃報

・田中 義人(タカ ヨシト) 理事 平成 22 年 5 月 27 日 61 歳

2) 常任理事交代

- ・福永 慶隆 副会長・庶務担当常任理事→理事
- ・五十嵐 隆 財務担当常任理事→理事
- ・平岩 幹男 公益担当常任理事→公益法人担当、庶務担当常任理事兼任
- ・岡田 知雄 理事→財務担当常任理事就任

3) 代議員

(選任) 岡山県 小田 慈(オダ マグミ)

(交代) 山梨県 田中 均(タカ ヒトシ) → 相原 正男(アイハラ マサオ)

4) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
栃木県	杉田 憲一(スギタ ケンイチ)	白石 裕比湖(シライシ ヒロヒコ)
埼玉県	峯 真人(ミネ マヒト)	平岩 幹男(ヒライワ ミキオ)
東京都	山口 規容子(ヤマグチ キヨコ)	庄司 順一(ショウジ ジュンイチ)
鳥取県	笠置 綱清(カサヅ ツナキヨ)	神崎 晋(カンザキ シノブ)

5) 委員会委員

1. 発育委員会委員長交代：田中 義人(タカ ヨシト) → 加藤 則子(カトゥ ノリコ)
2. 予防接種・感染症委員会新任：菅原 美絵(スガハラ ヨシエ)
3. 小児救急の社会的サポートに関する委員会新任：栗原 玲子(クリハラ レイコ)
4. 編集委員会新任
遠藤 数江(エントウ カズエ)、竹原 健二(タケハラ ケンジ)、栗原 玲子(クリハラ レイコ)
5. 研究助成賞選考委員
平岩幹男(ヒライワ ミキオ)委員長、山崎嘉久(ヤマザキ ヨシヒサ)委員長代行、
杉浦太一(スギウラ タイイチ)、鳥居央子(トリイ ヒロコ)、谷村雅子(タニムラ マサコ)、
小林正子(コバヤシ マサコ)、鎌田尚子(カマタ ナホコ)
6. 実践活動助成賞選考委員
大西文子(オホシ フミコ)委員長、長嶋正實(ナガシマ マサミ)委員長代行、
前田浩利(マエダ ヒロシ)、倉橋俊至(クラハシ トシユキ)、白石淑江(シライシ ヨシエ)、
尾花由美子(オハナ ユミコ)、太田百合子(オオタ ユリコ)
7. 利益相反委員会 (COI)
衛藤 隆(エトウ タカシ)委員長、上田友和(ウエダ トモカズ)副委員長、
平岩幹男(ヒライワ ミキオ)、秋山千枝子(アキヤマ チエコ)
8. 研究倫理委員会
平岩敬一(ヒライワ ケイイチ) (委員長)、上田友和(ウエダ トモカズ)副委員長、
平岩幹男(ヒライワ ミキオ)、秋山千枝子(アキヤマ チエコ)

6) 外部団体委員

1. 日本医師会 乳幼児保健検討委員会委員就任 岡田知雄(オカダ トモオ)
(敬称略)

(3) 役員会などの開催

全国理事・支部長会 1 回、常任理事会 3 回、編集委員会 3 回、予防接種・感染症委員会 2 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 1 回、学校保健委員会 4 回 (講演会 2 回)、平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会 1 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 1 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 (実務者会議) 2 回、を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営している。

(4) 日本小児科連絡協議会合同委員会

1) 日本小児科学会・日本小児科医会 (日本小児科連絡協議会) との合同で、日本小児科連絡協議会 3 回、合同委員会：「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 2 回、予防接種推進専門協議会 (全体委員会) 1 回、予防接種推進専門協議会 (代表委員会) 5 回、自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 1 回、子育て支援ハンドブック編

集委員会 1 回を開催し、当協会の事業目的に沿った活動を行っている。

(5) 平成 22 年度春季総会

平成 22 年 4 月 23 日(金)、岩手情報交流センター「アイーナ」(岩手)において、社員総数 225 名(理事 25 名、代議員 200 名)出席者数 45 名、うち委任状 113 通を加え社員の過半数以上に達したことを確認した上、議長に関口 進一郎先生を選出し、議事録署名人に河野陽一(千葉県)、掛江直子(東京都)両氏を指名し開催した。

下記の議案が承認された。

- 1)平成 21 年度事業報告
- 2)平成 21 年度収支決算および監査報告

(6) 日本小児保健学会の開催

第 57 回日本小児保健学会は、新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 内山聖教授を会頭として、平成 22 年 9 月 16 日(木)・17 日(金)・18 日(土)の 3 日間。朱鷺メッセ(新潟)に於いて開催。

テーマ:「子ども達の未来を信じよう、そして、子ども達が夢を持てる社会に」

(7) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」現在 69 巻 4 号まで発刊した。

(8) 講演会等の開催

1) 支部研修会開催助成

- | | |
|-----------------------------|------|
| ・「第 49 回岩手県小児保健学会」 | 岩手県 |
| ・「平成 22 年度奈良県小児保健研修会」 | 奈良県 |
| ・「第 27 回兵庫県小児保健協会総会・シンポジウム」 | 兵庫県 |
| ・「埼玉県小児保健協会第 73 回研究会」 | 埼玉県 |
| ・「平成 22 年度栃木県小児保健協会・研修会」 | 栃木県 |
| ・「平成 22 年度母子保健指導者研修会」 | 神奈川県 |

- 2) DENVERⅡーデンバー発達判定法ー判定技術養成講習会を平成 22 年 5 月 29 日(土)に和光堂 株式会社 東京支店会議室に於いて開催し、参加者は 48 名であった。

(9) 小児保健セミナーの開催

- 1)第 27 回小児保健セミナー「保育の問題をめぐって」を、平成 22 年 6 月 20 日(日)に国立成育医療センター講堂に於いて開催し、参加者数は 195 名であった。

(10) 協会活動

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会のそれぞれが本協会の目的のために活動している。
- 2) 4 月 14 日の中国青海地震へ義援金を拠出した。

2. 各委員会活動報告（合同委員会開催中止）

3. その他

- (1) 日本医師会と予防接種推進専門協議会の共催による、予防接種法の改正に向けた、署名活動を実施する

スローガン：「希望するすべてのこどもに予防接種を！」

- (2) 市民公開講座実施予定

日時：平成 23 年 1 月 29 日（土）

会場：愛知県（未定）

報告事項 (下半期)

1. 平成 22 年度人事・事業実施報告 (平成 22 年度秋季総会ですでに報告のものは除く)

(1) 会員数

	平成 22 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日
会 員	4,773 名 (正会員名 4,465 団体 308)	4,664 名 (正会員名 4,380 団体 284)
賛助会員	15 社	12 社

1) 平成 22 年度新入会員数 (団体・賛助除く) 334 名

<職種別新入会者>

医師 80 名、歯科医師 9 名、保健師 16 名、助産師 8 名、看護師 73 名、
栄養士 6 名、養護教諭 4 名、保育士 15 名、教職・研究職 81 名、その他 40 名
不明 2

合計 334 名

2) 平成 22 年度退会会員数 (団体・賛助除く) 419 名

<職種別退会者>

医師 125 名、歯科医師 11 名、保健師 36 名、助産師 18 名、看護師 71 名、栄養
士 9 名、養護教諭 2 名、保育士 11 名、教職・研究職 43 名、その他 31 名、不明
62 名 合計 419 名

参考

<職種別会員>

医師名 1,847、歯科医師 122 名、保健師 173 名、助産師 76 名、看護師 420 名、
栄養士 44 名、養護教諭 21 名、保育士 40 名、教職・研究職 801 名、その他 216
名、不明 620 名 合計 4,380 名 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

(2) 人事について

1) 支部長交代

(支部)	(旧)	(新)
長崎県	松本 正(マツモト タカシ)	森内 浩幸(モリウチ ヒロユキ)
広島県	田中 義人(タナカ ヨシト)	岡崎 富男(オカザキ トシオ)

2) 訃報

・鈴木 榮(スズキ サカエ) 名誉会員	平成 22 年 6 月 25 日	享年 90 歳
・庄司 順一(シヨウジ ジュンイチ) 支部長	平成 23 年 1 月 17 日	享年 62 歳
・神谷 齋(カニヤ ヒロシ)	平成 23 年 2 月 2 日	享年 71 歳

(3) 平成 22 年度総会

平成 22 年 9 月 17 日（金）、朱鷺メッセ（新潟）において秋季総会が開催された。社員総数 223 名（理事・監事 26 名・代議員 197 名）に対し、出席者数 56 名（うち委任状 129 通）

であり、総会は成立した。議長に内山 聖会頭、議事録署名人に松石 豊次郎（福岡県）・渡辺 博（東京都）両氏を選任し、開会した。

下記の議案が承認された。

I：平成 22 年度事業報告

II：平成 22 年度修正予算案

III：平成 23 年度事業計画案

(4) 役員会等の開催

全国理事・支部長会 1 回、常任理事会 3 回、編集委員会 4 回、予防接種・感染症委員会 2 回、栄養委員会 1 回、事故予防検討会 1 回、発育委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 2 回、学校保健委員会 4 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 3 回を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

(5) 日本小児保健学会の開催

第 57 回日本小児保健学会を開催。

会頭：内山 聖教授（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野）

日時：平成 22 年 9 月 16 日（木）・17 日（金）・18 日（土）

会場：朱鷺メッセ（新潟）

テーマ：「子ども達の未来を信じよう、そして、子ども達が夢を持てる社会に」

(6) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」70 巻 2 号まで発刊した。
- ・小児保健シリーズ「保育の問題をめぐって」発行
- ・70 巻 1 号より A4 判 表紙デザイン一新

(7) 市民公開セミナーの開催

日時：平成 23 年 1 月 16 日（日）

会場：名古屋市中企業振興会館 7 階「メインホール」

テーマ：「児童虐待：子どもたちを守るために」

愛知県小児保健協会 共催

中日新聞社、名古屋市教育委員会 後援

・参加者 120 名

(8) 講演会等の開催

- 1) 判定技術養成講習会(DENVER II-デンバー発達判定法-)を学会時開催した。
- 2) 支部研修会開催助成
 - ・「第 28 回山梨小児保健学会」山梨県
 - ・「愛知県小児保健協会学術研修会」愛知県

(9) 協会活動

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会(事故予防委員会)、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、平成 22 年度乳幼児身体発育調査小委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。
- 2) 日本赤十字社を通じて義援金を拠出した。
ニュージーランド地震(50,000 円)、東日本大震災(100,000 円)
- 3) 支部活動
全国 47 支部は、研修会の開催、機関誌の発行等を行った。
(平成 22 年度支部活動報告は、小児保健研究第 70 巻 4 号に掲載予定)

(10) 日本小児科連絡協議会

- 1) 日本小児科連絡協議会 2 回(日本小児科学会・日本小児科医会との合同で開催)
- 2) 合同委員会
 - ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 2 回
 - ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 2 回
 - ・予防接種推進専門協議会 2 回
 - ・「子育て支援ハンドブック」編集委員会 1 回
 - ・「第 5 回子どもの食育を考えるフォーラムー子どもの食は大丈夫?ー」1 回

2. 日本小児保健協会学術集会開催計画

(1) 第 58 回(平成 23 年)日本小児保健協会学術集会

会頭: 大西 文子 教授(日本赤十字豊田看護大学看護学部小児看護学)

日程: 平成 23 年 9 月 1 日(木) 2 日(金) 3 日(土)

会場: 名古屋国際会議場

テーマ: 「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること！」

(2) 第59回(平成24年)日本小児保健協会学術集会

会頭：小田 慈 教授(岡山大学大学院保健学研究科)

日程：平成24年9月27日(木)、28日(金)、29日(土)

会場：岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム

3. その他

(1) 平成23年度名誉会員の推薦(庶務担当常任理事)

地方協会会長は、平成23年6月末日までに事務局まで提出してください。

(2) 小児保健奨励賞(協会活動担当常任理事)

1) 地方協会会長は、平成23年度実践活動助成候補者がありましたら、推薦状を会長宛平成23年6月末日までに事務局へ郵送してください。

(3) 平成22年度支部活動報告提出のお願い(編集担当常任理事)

地方協会会長は、支部活動報告を400~600字にまとめて、平成23年6月末日までに編集部へ提出してください。

(4) 第28回小児保健セミナー開催(教育普及担当常任理事)

日時：平成23年6月19日(日) 10:00~17:00

会場：ベルサール九段(東京都千代田区九段北1-8-10)

テーマ：「小児保健と関連領域」

(5) 滞納退会者について(庶務担当常任理事)

*年会費が2年以上滞納の場合、新年度5月末日までに支払の確認ができない時は滞納退会者として、「小児保健研究」70巻4号(7月号)に氏名を掲載する。

(6) 三者協委員会設置の件

*三者協各団体は、公益法人化にあたり障がいとなる為、既存の合同委員会(7委員会)を各団体(学会・協会・医会)に振り分けることとした。

≪日本小児科学会≫

・食育フォーラム

≪日本小児保健協会≫

・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会

・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会

・「子育て支援ハンドブック」編集委員会

- ・小児科と小児歯科の保健検討委員会
- 《日本小児科医会》
- ・小児保健法設立推進委員会
 - ・子どもとメディア委員会

(7) 発達障害への対応委員会発足の件